

令和4年度 公益財団法人西郷南洲顕彰会事業計画

I 基本方針

西郷南洲顕彰館の指定管理者制度4期2年目となる令和4年度は、引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底した上で、来館者の満足度の更なる充実を図るとともに、明治維新先覚者（以下西郷南洲翁等）に関する知識の普及や啓発並びに西郷南洲顕彰館の効率的な管理運営に努めます。

これまで培った多くのレファレンス業務等から得た実績をもとに、西郷南洲翁等の偉業遺徳をより深く顕彰するとともに、その事績及び精神的遺産を後世に継承するための研究調査を行いながら、青少年の教育と健全な育成に寄与するという設立目的を基に事業を展開します。

また、西郷南洲顕彰館の指定管理者として、市民に親しまれる館づくりに努め、市民サービスの向上や円滑で効率的な管理運営に努めます。施設の良好な維持管理のため、日々の保守点検を確実にを行います。

併せて、特別展や講演会・各種講座の開催や常設展示等の内容の充実に努め、利用促進を図り、西郷南洲翁等や西南戦争に関する多種多様なレファレンス業務に対応します。

このほか、引き続き、理事会、評議員会を開催し円滑な事業運営を図ります。

Ⅱ 事業の概要

【公益目的事業】

<受託事業>

1 西郷南洲顕彰館管理受託事業

鹿児島市より指定管理者として指定を受け、より効果的かつ効率的な管理運営を行います。また、これまでの実績や経験を生かしながら、多くの市民に西郷南洲翁等への理解を深める館としてご利用いただけるよう、積極的な運営に努めてまいります。

(1) 敷地、建築物及び付属設備等の維持管理

館の敷地、建築物・展示物等の施設及び付属設備・備品の維持管理を適切に行い、安全で快適な利用しやすい施設となるように努めます。

(2) 特別展の開催

例年同様に特別展を開催します。

- ①「西郷南洲翁が敬慕した偉人たち」・・・ 4/29（金）～8/31（水）
- ②「明治天皇と南洲翁」・・・ 10/4（火）～1/15（日）
- ③「西郷南洲遺墨展」・・・ 1/17（火）～3/31（金）

(3) 講演会、講座の開催

特別展開催期間中に、特別展の趣旨や内容をより深く理解していただくために講演会を開催します。また、引き続き古文書講座等の歴史講座を開催します。

2 南洲公園駐車場鍵開閉業務受託

鹿児島市との契約に基づき、南洲公園駐車場の鍵開閉業務を適切に行います。講演会や講座等で多くの利用者が予想される際は、職員が誘導にあたります。

3 学芸員実習受入れ

学芸員実習生を受け入れ、博物館等の専門知識を有した学芸員が指導を行います。

<自主事業>

1 講座等の開催

(1) 南洲翁遺訓学習会

西郷南洲翁等や西南戦争をテーマにした学習会を開催します。9月、10月を除く毎月第4土曜日、午後2時～4時。西郷南洲翁の遺訓朗読や詩吟朗詠も行います。

(2) 夏休み親子歴史教室

夏休み期間中に2回、西郷南洲翁をテーマにした歴史教室や参加者が実際に体験

できる歴史文化教室を開催します。西郷南洲翁のアニメ上映や、映像を使った講話、体験教室を行う中で、西郷南洲翁や郷中教育等の歴史の一環について親子で語り合い、学び合うことを目的としています。

2 催し等

(1) 西郷どんの遠行（第51回）

郷中教育の一環である山坂達者を取り入れた西郷南洲翁の史跡巡り遠行を行います。各ポイントではシニアガイドが説明を行い、ゴール時に参加者へ記念品を配布します。参加児童・生徒から感想文を募集し、機関誌「敬天愛人第41号」に掲載します。

・開催日・・・令和4年9月23日（金）

(2) 西南の役を偲ぶ旅（第46回）

延寿寺や段山古戦場跡、熊本城など熊本市を中心に西郷南洲翁や西南戦争に関する史跡を訪れる旅を令和4年10月24日（月）に計画しています。講演会や講座、ホームページ等で参加者を募集します。

3 機関誌の発行

「敬天愛人第40号」を発行します。編集は公益財団法人西郷南洲顕彰会専門委員が行います。

・発行日・・・令和4年9月24日（土）

・発行部数・・・2,000部

・主な配布先・・・国立国会図書館、都道府県立図書館、鹿児島県下の小中学校・高校・短大・大学・教育委員会・公立図書館、関連施設、賛助会員等

・編集・・・公益財団法人西郷南洲顕彰会専門委員会

・編集会議・・・2回

4 その他

(1) シニアガイドの活動

登録シニアガイドが西郷どんの遠行の各ポイントで参加者への説明を行います。

(2) 資料の収集

令和3年度に引き続き、資料の寄贈・寄託の申し入れに対応します。資料については、博物館等の専門知識を有した学芸員により、体系的な整理、収蔵庫への保管、管理を行います。

(3) 児童、生徒への学習支援

総合的な学習等で入館する児童・生徒へ、展示解説や歴史講話を実施し、学習支援を行います。

＜賛助会員＞

講演会や講座等で入会案内を配布する等、会員数増加のための取り組みを行います。
なお、館内にも入会案内を設置しています。

【収益事業】

自主事業等の財源を確保するために、ミュージアムショップの運営や通信販売、西郷南洲翁の遺墨の鑑定を実施します。ミュージアムショップは、陳列の工夫や通信販売の対応を見直すとともに、販売品の充実に努めます。

【法人に関する事項】

理事会、評議員会等を開催し、事業展開に反映させるとともに円滑な事業運営を行います。